

加美地域におけるさつまいもの 新たな産地形成に向けた生産技術の確立



計 画 期 間：令和6年度～令和7年度

対 象 者：個人N氏（新規）、（株）スマートアグリ庄子（新規）、（有）ライスアーティスト
（JA加美よつばさつまいも生産者：令和6年度11経営体、令和7年度16経営体）

担当チーム員：◎本田修三、小松知子、大津琴乃、今野愛祐美、小宮なぎさ

課題背景

① 背景・需要の高まり

- ・全国的にさつまいもの需要が拡大
- ・宮城県・JA全農みやぎが県内産地の生産・流通拡大に着手

② JA加美よつばの取り組み

- ・令和5年度：貯蔵施設を整備し、出荷拡大（作付面積2.2ha）
- ・令和6年度：キュアリング施設導入 → 生産体制の強化

③ 寒冷地でのさつまいも栽培

- ・寒冷地では栽培が難しいとされていた品目
- ・加美町の(有)ライスアーティストが長年栽培に取り組み
地域の気候・土壌に適したノウハウを蓄積、高い生産性を実現

産地化へ向けた課題

- ・新規作付者が安定した収量・品質を早期に確保することが重要
- ・加美地域に適した栽培技術体系の確立が急務
- ・(有)ライスアーティストの技術を「見える化」



プロジェクト課題の目標と活動項目

○定性的目標

- ⇒新規のさつまいも作付者の高品質安定生産が行われ、作付拡大意欲が高まる。
- ⇒作付拡大の基礎となる、加美地域の気候に合わせた栽培体系が確立される。

○定量的目標

- ⇒新規作付者の収量
- | | | |
|-------|----------|-------------|
| 実績：R5 | 1.7t/10a | |
| 目標：R6 | 2.1t/10a | 実績：1.6t/10a |
| 目標：R7 | 2.5t/10a | 実績：2.0t/10a |

○活動項目

- 項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導
- 項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成



活動状況

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導

R6 移植研修会



植付作業の実演で作業を確認
先進農家のノウハウを伝達

R6現地検討会



相互の取組み状況を共有

活動状況

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導

R7土壌分析と地力窒素の測定



連作・新規ほ場の土壌分析の実施
地力調査の試行

R7個別指導も実施



JA営農指導員と巡回
個別施肥や定植に向けた指導

活動状況

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導

R7活着状況・生育の確認



R6産の課題だった活着状況を確認
⇒ドローンによる生育記録も実施

R7現地検討会、生産者同士の情報共有



生産者同士の活発な情報交換

活動状況

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導

R7収穫・選別講習会



更新したマニュアルを用い
効率的な作業手順や注意点を指導

R7選別作業の確認



その後も巡回し、
選別時の注意点を再確認

活動状況

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導



⇒新規作付者の収量 R7

目標：2.5t/10a

実績：2.0t/10a

⇒新たに見えた問題点や課題

- ・良質苗の適期確保
- ・肥沃畑のつるぼけ
- ・新たに発生した害虫被害
- ・高温・干ばつ

➡技術や工夫による解決策の模索

活動状況

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

R6(有)ライスアーティストから作業のポイントの聞き取り



定植作業

作業時の注意点や工夫を調査
ノウハウの見える化に向け情報収集

R6マニュアル（仮）の作成

令和6年産 加美地域さつまいも栽培基準
定植～除草管理

苗の管理

- ・苗は到着後すぐに検品し、日陰の涼しい場所（10℃以上）で保管する。
- ・購入苗は消毒済か確認し、未消毒の場合はベンレート水和剤で苗を消毒する。

定植（鉢め寄せ：移植機さすけ使用の場合）

- ・定植時期は5月下旬～6月下旬
- ・株間35cm程度
- ・植付角度30～40°で3～5節を土壌中に差し込む。

※定植が遅れる場合は株間を広げ、植付角度を45°にする。

灌水と生育をよくするポイント

- ◎晴れた日中は避け、朝夕や曇天・雨天日に行う。
- ◎2週間程度で植付後の気温が低いことを確認する。
- ◎植付時に鉢底を破って苗と土と密着させる。
- ◎乾燥する場合は植穴にかん水を行う。
- ◎マルチの植穴に覆土し、バタつきを抑える。

除草管理

- ・植穴から発生した雑草は手取り除草する。雑草が大きい場合はさつまいもの根を傷めるので、ハサミ等で除草する。
- ・イネ科雑草は登録のある茎葉処理剤で除草する。
- ・通路は、さつまいものツルが通路部に到達するまで、土壌処理剤や非選択性の茎葉処理剤で除草を行う。

23加美農業平塚
<https://www.data.jma.go.jp/gmsj/cpd/twoweek/2fuke34>

稲付録さすけ 使用方法
<http://www.san-eh.co.jp/sasuke/sasuke.html>

作成：JA10豊よつば、次期農業職員普及センター 作成協力：(有)ライスアーティスト

活動状況

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

R6栽培状況の調査



R6試掘り調査



「つるぼけ」症状
つるが長く伸び
いもの肥大が悪い

生育状況や試掘り調査(JAと協力)
先進的生産者も未経験のつるぼけが複数ほ場で発生

活動状況

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

R6,R7新規作付者に対して作業毎の疑問点や課題の聞き取り



マニュアルの改善を図るため、分かりにくい点を確認

活動状況

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

R6,R7マニュアルの充実に向け様々な作業写真の収集も実施



自作定植棒



定植作業



鎌入れ



つる切り機



自走式収穫機

活動状況

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

作付拡大を図る中で、先進的に取り組む生産者も未経験の様々な問題も発生
「ノウハウの見える化」+ α が必要



つるぼけ



高温・干ばつ



新たな害虫被害

作業の時期	施肥の目安	備考
2月～3月	20kg/10a	肥料の過剰施用は根腐れの原因となる
3月～4月	10kg/10a	肥料の過剰施用は根腐れの原因となる
4月～5月	10kg/10a	肥料の過剰施用は根腐れの原因となる
5月～6月	10kg/10a	肥料の過剰施用は根腐れの原因となる

先進産地の取組みも調査し
マニュアルを改善

まとめ

加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成に向けた生産技術の確立

項目1 新規作付者の力量に合わせた栽培技術向上に向けた技術指導

○定量的目標 ⇒新規作付者の収量 実績：R5 1.7t/10a
目標：R6 2.1t/10a 実績：R6 1.6t/10a
目標：R7 2.5t/10a **実績：R7 2.0t/10a**

生産者の声：「年々技術は向上し、手ごたえを感じた。

伸びしろは十分にあるので課題をクリアし多収を目指したい。」

項目2 加美地域におけるさつまいも栽培マニュアルの作成

3月に栽培講習会を予定

更新したマニュアルを使って次作での目標達成を目指す



今後の課題

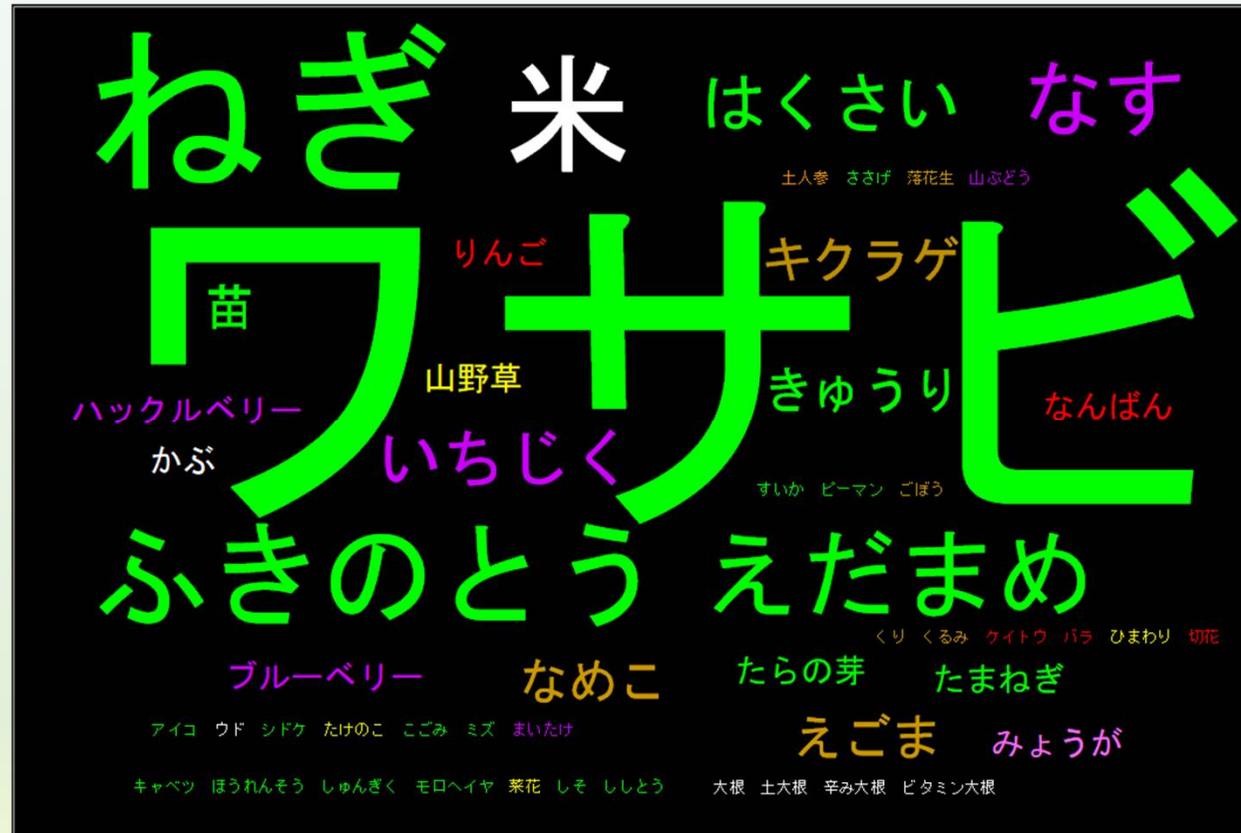
残された課題、新たな課題への対応



定植時期の高温・少雨による活着不良
夏期の干ばつ
新たな病害虫の発生

⇒引き続き関係機関と連携し支援
(R8普及センター重点活動)

中山間地農業の核となる 農産物直売所の組織運営能力向上



グーグルマップの
クチコミから作成した
ワードクラウド

- 計画期間：令和5年度～令和7年度
- 対象：農事組合法人やくらい土産センターさんちゃん会理事6人
プラビラボ8人（うち、さんちゃん会会員3人）
- 担当チーム員：

令和7年度：◎小林雅文、大和田祥代、尾上智子、今野愛祐美、小宮なぎさ、羽場蓮

宮城県大崎農業改良普及センター

1 課題の背景

やくらい土産センター（H6設立 H14法人化） の抱える問題点と支援策

(1) 高齢化による組合員の減少と経営者（理事）の高齢化

⇒若い組合員の確保・育成と若手経営者への事業継承

(2) 組合員の減少による出荷数の減少

⇒品揃え強化、魅力ある品目への取り組み

(3) 出荷数の減少による販売額の減少

⇒集客力の強化、魅力ある店舗づくり

2 このプロジェクトが目指すもの

(1) 定性的目標

- ①法人としてのさんちゃん会の組織運営能力が向上し、経営安定が図られる。
- ②プララボの構成員が次代の中山間地農業の担い手として成長し定着する。
- ③理事と若手農業者が協調して経営改善計画の検討・策定を行うことにより、若手農業者の育成と定着が図られ、以て安定的・持続的な組織運営が可能となる。

(2) 定量的目標

理事と若手組合員、プララボによる経営改善に向けた新規取組数

R4 (0) → R5 (3) → R6 (6) → R7 (10)

() 内の数値は各年度の積算

2 このプロジェクトが目指すもの

(3) 定量的目標の設定項目

「理事と若手農業者組合員，プラビラボによる経営改善に向けた新規取組数」

	取り組み内容
1	新規作物導入の有無
2	売り場改善への取り組み（研修内容の実施）
3	集客に向けた取り組み（看板、のぼり等の設置）
4	情報発信力の強化（HPの改善）
5	集荷体制の改善
6	新規出荷者の獲得
7	近隣施設との企画・連携会議の再開
8	惣菜品の新規開発
9	若手構成員による連絡会議の設立
10	若手構成員による新規イベント開催
11	加工品の新規開発
12	経営継承計画の策定
13	後継者候補の選定と育成
14	直売品目の売上額向上
15	来客数の向上

このうち、10
項目の達成を
目標とした。

3 具体的な活動項目

(1) 品ぞろえと商品力の強化

- 各種研修会（新規作物導入、春作・秋作野菜、高温対策、土壌・肥料農薬の適正使用）
- 野菜、花き、果樹の巡回指導
- 若手出荷者に対する技術指導

(2) 集客力と顧客対応力の強化

- 各種研修会（接客力向上、売り場改善、商品力向上）
- 新商品の開発支援

(3) 若手生産者ととともに取り組む次世代への継承準備

- 若手組合員によるイベント開催支援
- 法人形態変更に向けた各種支援

4 活動内容

(1) 品ぞろえと商品力の強化①

R4.11.30 新規作物導入研修会



R6.7.2 土づくり研修会



R6.11.4 高温対策研修会



R7.6.2 若手組合員への栽培指導



4 活動内容

(1) 品ぞろえと商品力の強化②

大丈夫？

出荷して

そのジャガイモ

緑化したジャガイモによる食中毒が発生したら、直売所の信用が…

緑化したジャガイモには、**食中毒**を引き起こす**ソラニン**や**チャコニン**などの有毒物質が多く含まれています。症状としては、おう吐、下痢、意識障害、呼吸困難などが起こり、ひどい場合は死に至ることもあります。特に幼児で影響が強く、2～3個で重い中毒症状が発生した事例があります。

栽培中は**土寄せ**を十分にいき、地表に露出しないように管理しましょう。収穫したジャガイモは、**風通しのよい涼しくて暗い場所**(※)に保管し、日光にあてないようにしましょう。(段ボールや新聞を使い、倉庫で保管するなど)

※少しの光でも緑化が進むので、完全に真っ暗にする必要があります。

出荷前に緑化していないかよく確認しましょう！！

腐敗したつるむらさきの出荷が見られます！



地際部の茎葉から腐敗

腐敗部に白い菌糸が発生

※写真は出荷翌日の状態です。

出荷前に腐敗が無いかわよく確認しましょう

高温時に強風や降雨に遭うと、その直後にまん延しやすくなります。

対策 ① 排水路の確保や高畝にすることで、降雨後の水はけを良くする。

対策 ② 株間を広げて風通しを良くする。

対策 ③ 被害株は見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出す。

対策 ④ 窒素過多による軟弱徒長に注意する。

4 活動内容

(2) 集客力と顧客対応力の強化

R4.12.6 おもてなし研修会



R5.3.7 売場改善研修会

R7.2.26 売場改善研修会



R6.2.28 POP作成研修会



4 これまでの活動内容

(3) 若手生産者とともに取り組む次世代への継承準備①

R5,R6,R7 カミヤングイチ開催支援



R5,R6,R7 専門家による指導



4 これまでの活動内容

(3) 若手生産者と共に取り組む次世代への継承準備②

R7.6.25 総会



R5,R6,R7株式会社化に向けた理事勉強会



5 活動の成果

(1) 定性的目標の評価

①法人としてのさんちゃん会の組織運営能力が向上し、経営安定が図られる。

⇒令和4年度以降、販売額が増加

②プララボの構成員が次代の中山間地農業の担い手として成長し定着する。

⇒プララボのメンバー2名が役員（理事、監事）に就任

⇒土産センターを核として活動している若手農業者が自主的な地域活性化イベント「カミヤングイチ」を開催

③理事と若手農業者が協調して経営改善計画の検討・策定を行うことにより、若手農業者の育成と定着が図られ、以て安定的・持続的な組織運営が可能となる。

⇒法人形態変更に向け、若手理事が中心となり経営改善計画を策定中

5 活動の成果

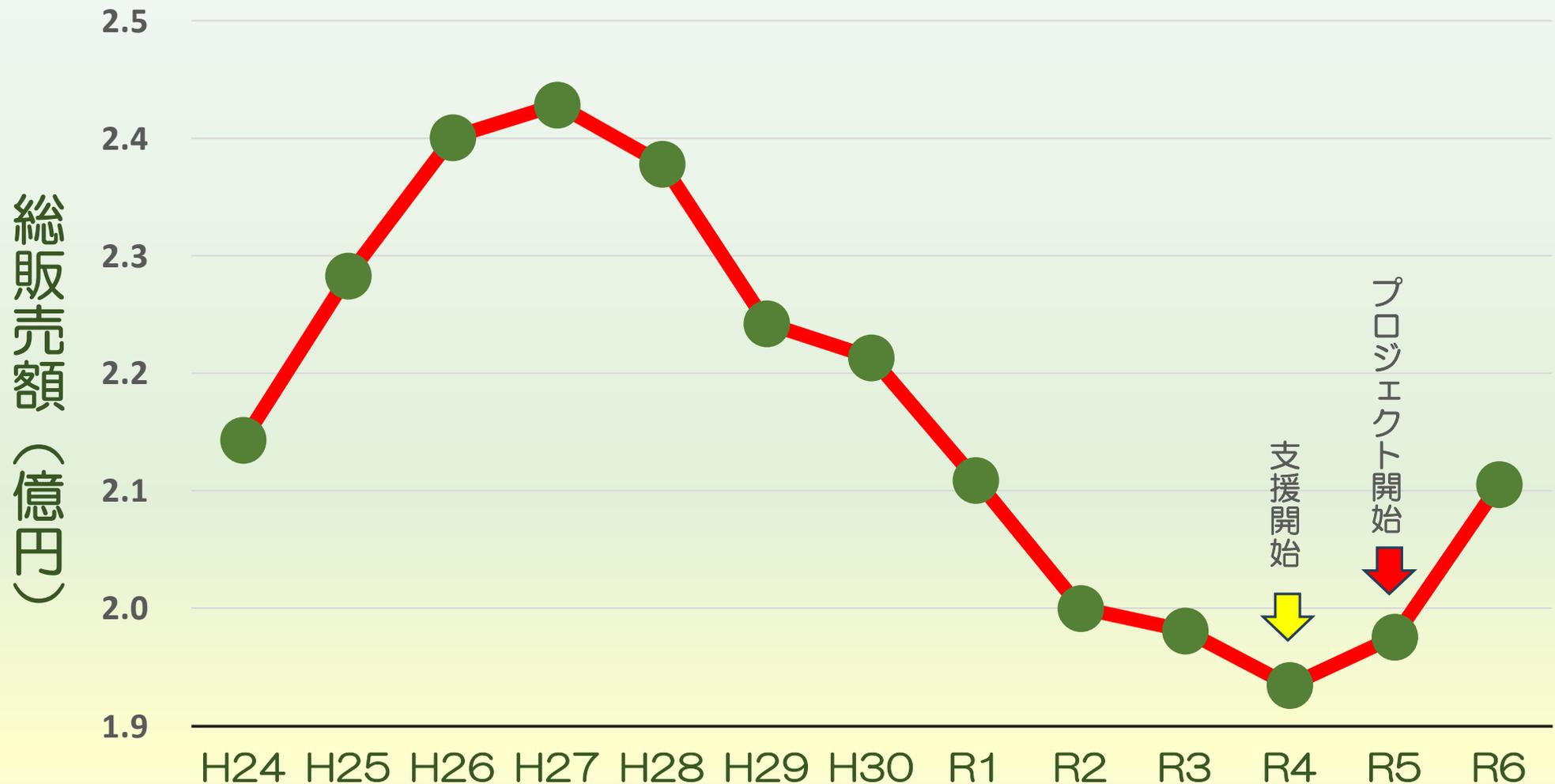
(2) 定量的目標の評価

「理事と若手農業者組合員，プラビラボによる経営改善に向けた新規取組数」

	取り組み内容	達成状況
1	新規作物導入の有無	達成
2	売り場改善への取り組み（研修内容の実施）	達成
3	集客に向けた取り組み（看板、のぼり等の設置）	達成
4	情報発信力の強化（HPの改善）	達成
5	集荷体制の改善	—
6	新規出荷者の獲得	達成
7	近隣施設との企画・連携会議の再開	達成
8	惣菜品の新規開発	—
9	若手構成員による連絡会議の設立	—
10	若手構成員による新規イベント開催	達成
11	加工品の新規開発	達成
12	経営継承計画の策定	達成
13	後継者候補の選定と育成	—
14	直売品目の売上額向上	達成
15	来客数の向上	—

5 活動の成果

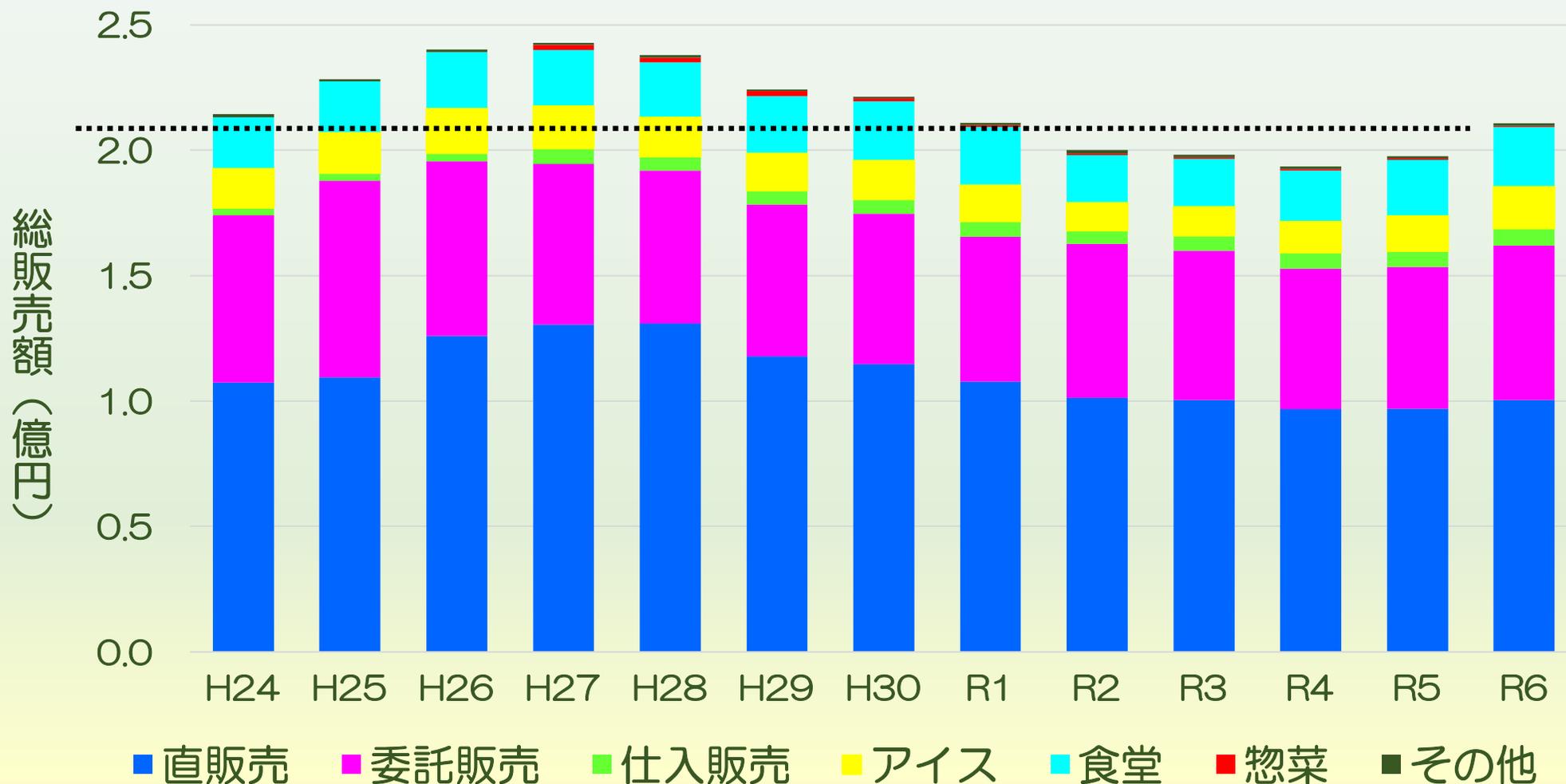
(3) 販売額の推移



図一 1 総販売額の推移 (平成24年～令和6年度)

5 活動の成果

(4) 部門別販売額の推移



図一 2 販売額とその構成比（平成24年～令和6年度）

6 残された課題と今後の対応

(1) 組合員数の減少

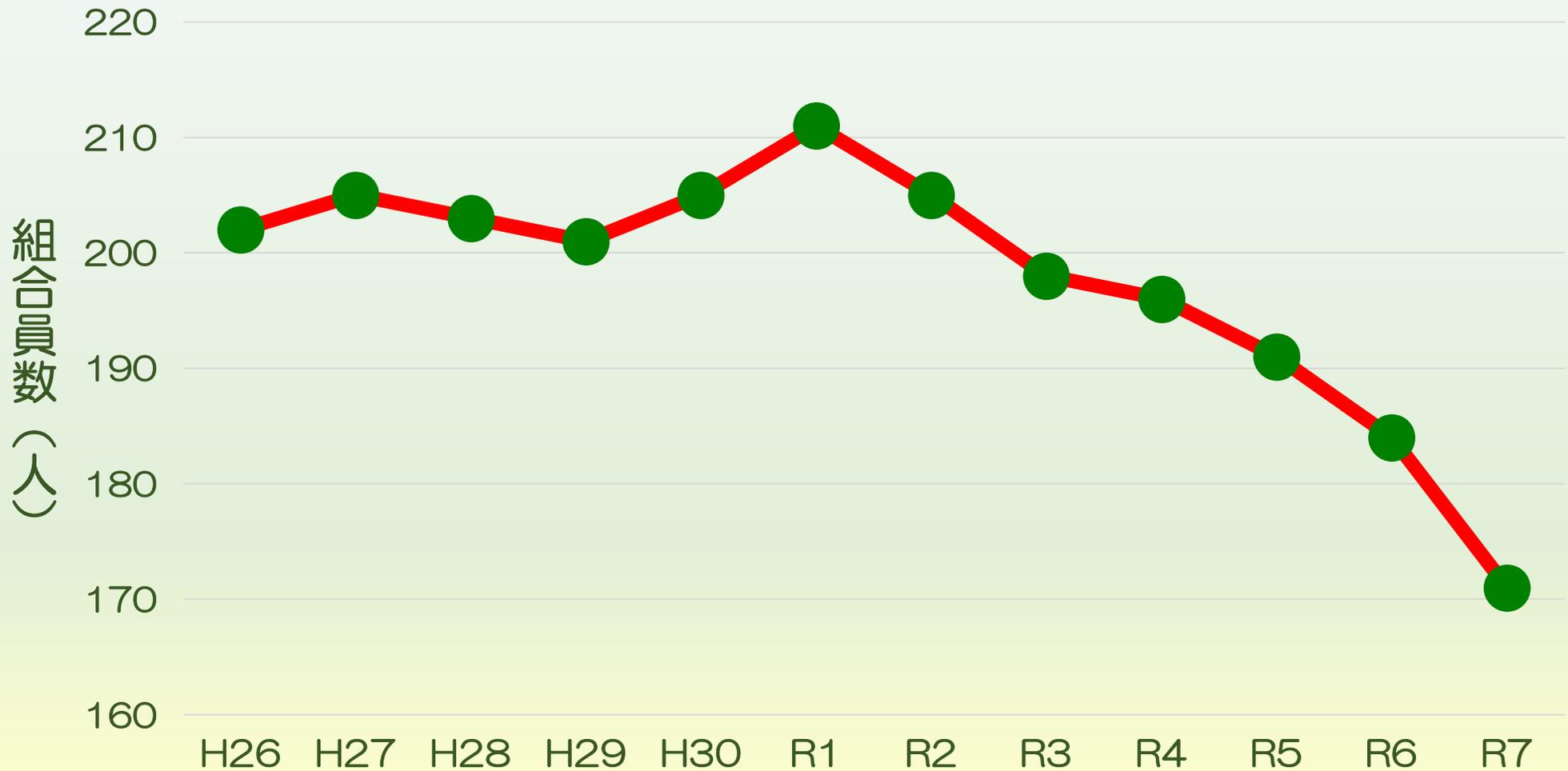


図-3 組合員数の推移（正組合員と員外組合員の計）

6 残された課題と今後の対応

(2) 来客数の減少

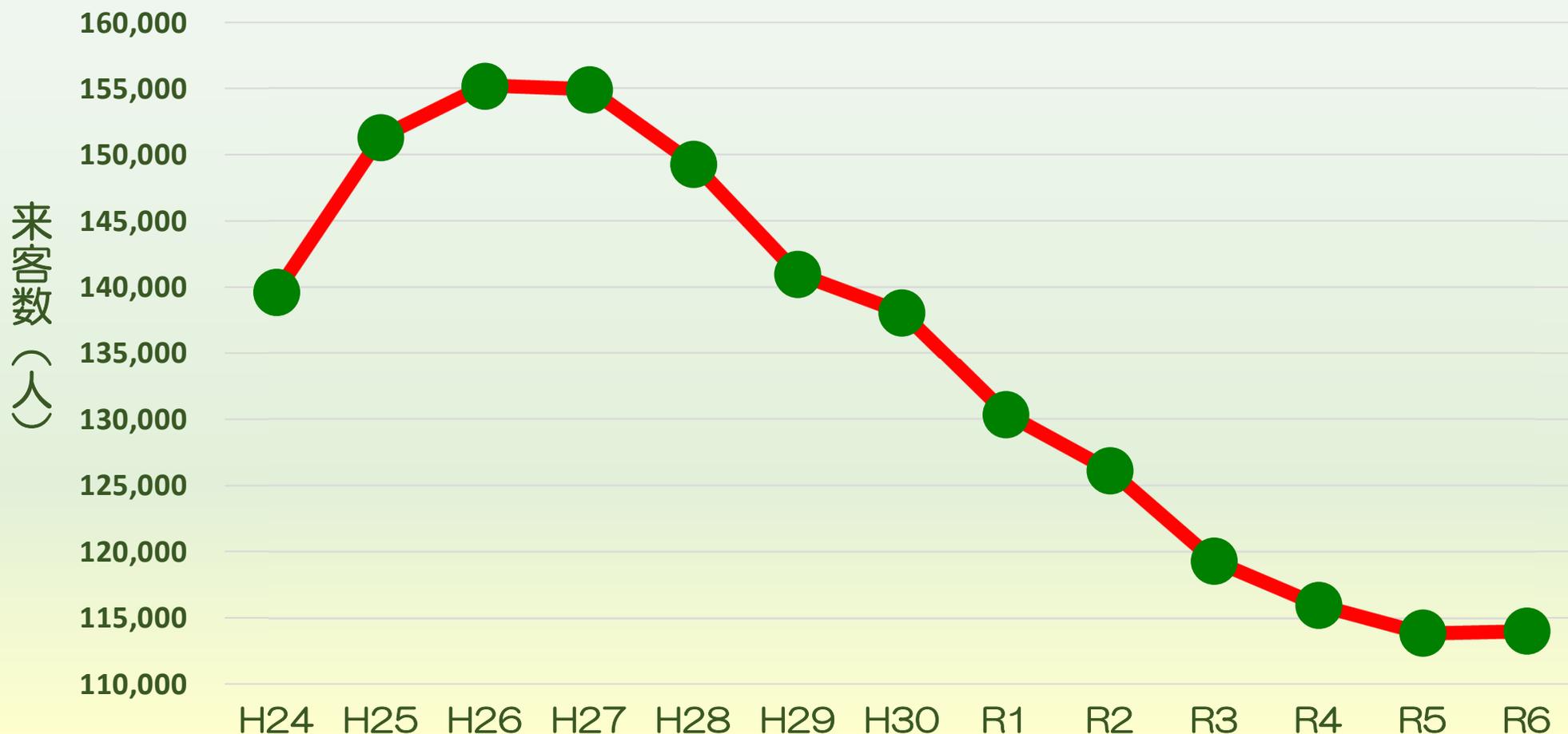


図-4 来客数の推移 (平成24年~令和6年)

6 残された課題と今後の対応

(3) 後継者の育成と円滑な経営継承

- 令和9年度の総会が役員改選期
- 代表理事を含め後継役員の実務者としての育成

(4) 安定した法人運営

- 法人形態変更後の事業展開の支援

⇒令和8年度重点活動として継続支援